

2021年3月29日

センクシア株式会社

施工性を向上させた 鉄骨はり貫通孔補強工法「ポジリング工法」を新発売

建材機器、チェーンの製造・販売及び関連工事を行うセンクシア株式会社（本社：東京都港区、代表執行役 執行役社長：笠原 伸泰）は、鉄骨はり貫通孔補強工法「ポジリング工法」を発売します。

ポジリング工法は、鉄骨はりに設ける貫通孔を補強する工法です。当社では、2003年に鉄骨造のはり貫通孔補強材として「ハイリング」を発売して以降、軽量化や補強効果、施工性の向上等、改良に取り組んでまいりました。現在販売中の「ハイリングⅢ工法」は、工期の短縮や設計の自由度等を高くご評価いただき、再開発の大型物件を中心に採用いただいております。

今回発売する「ポジリング工法」は、 $\phi 300$ 以下の貫通孔が多い中小規模の物件向けに、特に溶接量や施工性を重視し省力化を目指し開発した商品です。商品名には、「ポジション（位置決めが容易）」との意味を込めました。

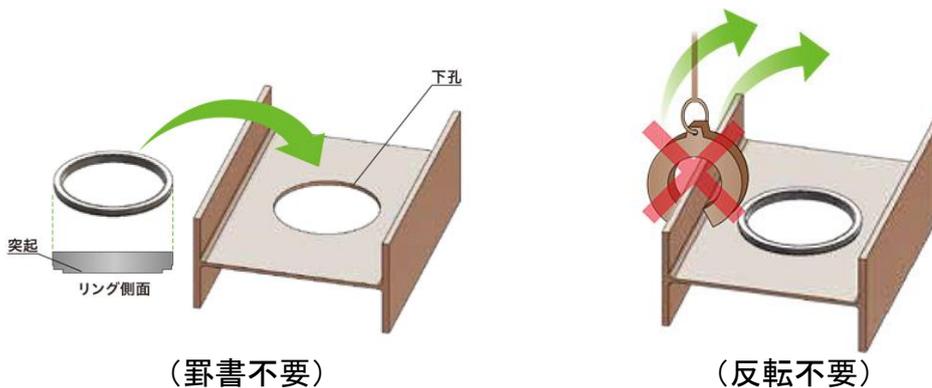
当社は今後、大型物件向けの「ハイリングⅢ工法」と、中小型物件向けの「ポジリング工法」の両輪で、建設現場の効率向上を通じて社会インフラの発展に貢献してまいります。



■ 「ポジリング工法」の特長

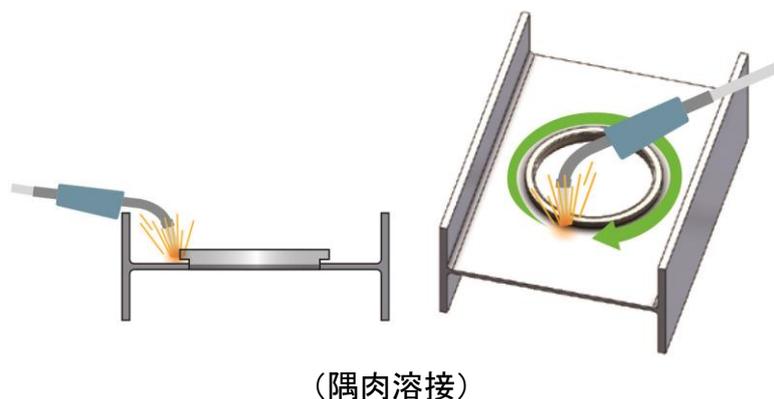
(1) 罫書とはりの反転が不要。鉄骨の製作時間を短縮できます。

ポジリング工法では、突起を下孔に合わせて挿入することで位置決めをすることが出来、罫書（ケガキ）の作業を省略することが可能です。また、はりの反転も必要ないため、鉄骨の製作時間を短縮することができます。



(2) 隅肉溶接で施工が可能。溶接量が低減できます。

取り付けは、ポジリングの外周を全周隅肉溶接で施工することで完了します。そのため、組立溶接後にはりの反転などを行わずにスムーズに取り付けられます。従来のハイリングⅢ工法と比較すると、溶接量は約 60%ダウンすることができます（φ200 用の場合）。



(3) 日本建築センターの評定を取得しています。

構造性能、施工性については実大実験や解析を基に（一財）日本建築センターの審査を受けて評定を取得しています。

<ポジリング工法 商品概要>

1. 商品名

ポジリング工法

2. 販売開始日

2021年4月1日

3. 商品ラインナップ

・対応孔径：φ100, 125, 150, 175, 200, 225, 250, 275, 300

4. 適用可能なはり

・S造

5. 国土交通大臣認定および日本建築センター認定

・国土交通大臣認定 MSTL-0548 (2021年2月取得)
・(一財)日本建築センター認定 BCJ 認定 - ST0095 (2021年2月取得)

6. 産業財産権

特許・商標 出願中

7. 価格

(例) φ150 円、6,100円 300φ 16,100円

※詳細はお問い合わせください。

8. 販売目標

・2021年度：3億円／2022年度：7億円／2023年度：10億円

9. 製造元および販売元

センクシア株式会社 東京都港区東新橋二丁目3番17号 (モメント汐留)

TEL:03-4214-1928 (建材カンパニー デバイス本部)

<本件に関するお客様のお問合せ先>
センクシア株式会社 デバイス本部 TEL:03-4214-1928

<本件に関する報道関係者のお問合せ先>
センクシア株式会社 経営企画部 keiki@sengcia.com